

ヤングケアラー

ヤングケアラーとは、家族のケアを行う18歳未満の子どものこと。国の調査によると、中学2年生の17人に1人が「世話をしている家族がいる」と回答している（2021年4月）。ヤングケアラーは、見ようとしないと見えない存在といわれる。だからこそ社会の認識を広めて、ヤングケアラーが安心して話せる場（学校、社会、地域）をつくる必要がある。本号では、ヤングケアラーの実態、行政、学校での支援のとりくみのほか、当事者の声やセルフヘルプ・グループを紹介する。



主な内容

Part 1 見ようとしないと見えない存在ヤングケアラー

ヤングケアラーの実態と必要な支援

堀越 栄子 (日本ケアラー連盟代表理事)

ヤングケアラーをとりまく諸課題

斎藤 真緒 (立命館大学産業社会学部教授)

全国初の「ケアラー支援条例」制定とその後のとりくみ

穴戸 幸典 (埼玉県福祉部地域包括ケア課)

《探る・深める》

若者ケアラーに求められているのは就職・転職支援

宮崎 成悟 (ヤングケアラー協会代表理事)

Part 2 学校と福祉・地域をつなぐ

ヤングケアラー支援のため、 教育現場から福祉との連携を図る

早野 裕之 (埼玉県教育局市町村支援部人権教育課)

人とつながることの心地よさを知ることで SOSを出せるようになる

黒光 さおり (スクールソーシャルワーカー)

長年のインクルーシブ教育実践を背景に ヤングケアラー支援にとりくむ

鬼塚 健自 (湘南教職員組合執行委員長)

地域連携型生徒支援で ヤングケアラーの「家族全体への支援」につなぐ

竹村 雅夫 (藤沢市議会議員)

うれしかったのは「ほめられたこと」「気にかけてくれたこと」

——精神疾患の親をもつ子どもの実態調査(成人後の調査)からみえてくるもの
蔭山 正子 (大阪大学高等共創研究院教授)

Part 3 当事者の声とセルフヘルプ・グループ

しんどいのは自分一人じゃない 葛藤する気持ちを共有できた ——ふうせんの会

吉野 祐樹 (仮名)・喜多 正輝・高岡 里衣 (ふうせんの会運営メンバー)

当時の自分の気持ちを振り返り、自分を知っていく

——精神疾患の親をもつ子どもの会「こどもびあ」

坂本 拓 (こどもびあ代表)

自分らしくいられる居場所であるために

——きょうだい会SHAMS

滝島 真優 (きょうだい会SHAMS代表・成蹊大学客員研究員)

子ども世代の思いが分かち合える場が欲しい

——若年性認知症の親と向き合う子ども世代のつどい「まりねっこ」

田中 悠美子 (立教大学コミュニティ福祉学部助教)

頼れる大人を見つける冒険

——絵本『生きる冒険地図』に込めたもの

細尾 ちあき (プルスアルハ)

全国の書店でお求めになれます。お近くの書店に、下記の注文書でお申し込みください。

発行 労働教育センター TEL 03-3288-3322 FAX 03-3288-5577

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-34 千代田三信ビル5F <http://www.rks.co.jp>

✂ (きりとり/書店へお申し込みください)

注文書

帖 合

書 名

氏名・団体名

女も男も No.138
ヤングケアラー

定価: 1,948円(本体1,771円+税10%)

ISBN978-4-8450-0897-1

TEL

FAX

冊

労働教育センター

『女も男も 自立・平等』バックナンバーのご紹介

既刊 女も男も 2021春・夏 No.137

定価：1,948円（本体1,771円＋税10%）

特集 私のからだは私のももの

コロナ禍のなかで、10代の妊娠相談が増えている。中学など義務教育での性教育の必要性が言われているが、性交、避妊、中絶について教えている学校はまだ少ないようだ。本号では、予期せぬ妊娠をした場合、具体的にどのような支援が行われているのかを、学校関係者や医療関係者などにうかがった。リプロダクティブ・ヘルス/ライツ実現のためには、学校、医療機関、国や自治体、そして私たちはどのような課題を解決しなければいけないのかを考える。

- 〔PART 1〕 女性の健康政策の現在
- 〔PART 2〕 10代の妊娠・出産・中絶
- 〔PART 3〕 セクシュアリティ教育の課題

既刊 女も男も 2020秋・冬 No.136

定価：1,948円（本体1,771円＋税10%）

特集 コロナストレスの時代に——ジェンダー、労働、教育

新型コロナウイルス感染拡大は、これまで社会が内包していたさまざまな問題を浮き彫りにした。とりわけ、突然の一斉臨時休校要請は、教職員、子ども、保護者に大きな混乱や不安をもたらした。本号では、休校対応や感染症対策に追われる学校現場の様子や、子どもたちへの影響についてレポート。さらに、女性労働者への被害の集中、DV被害の深刻化、居場所のない若者、10代からの妊娠相談など、コロナ禍において見えてきた社会の課題を探る。

- 〔PART 1〕 しわ寄せは女性労働者に
- 〔PART 2〕 “異例の事態”に向き合う学校現場
- 〔PART 3〕 「ステイホーム」のかけ声の陰で

既刊 女も男も 2020春・夏 No.135

定価：1,948円（本体1,771円＋税10%）

特集 妊娠・出産、育児も仕事も

育児・介護休業法は改正が重ねられ、制度の整備が進んできたが、出産退職する女性の割合は46.9%と依然として高く、パート・派遣では74.8%とグンと上がる。マタハラもなくなるらない。背景にあるのは、妊娠・出産・育児がまだ「リスク」とされる日本の職場環境ではないだろうか。子どもを産み育てながら働くことが当たり前になるには何が必要かを探る。

- 〔PART 1〕 いまだ妊娠・出産・子育てが「リスク」となる職場
- 〔PART 2〕 育児休業制度、ここが課題
- 〔PART 3〕 STOP! マタハラ
- 〔PART 4〕 保育園が見つからない!

既刊 女も男も 2019秋・冬 No.134

定価：1,948円（本体1,771円＋税10%）

特集 セクシュアリティ教育

氾濫する情報に困まれ、子どもたちはいま、さまざまな「性のリスク」にさらされている。子どもたちへのセクシュアリティ教育の充実が求められている。本号では、ユネスコ「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」をはじめ包括的性教育を実践するための視座、保育園、小中学校等での性教育実践例などを紹介する。

- 〔PART 1〕 セクシュアリティ教育のいま、これから
- 〔PART 2〕 セクシュアリティ教育実践
- 〔PART 3〕 民間団体のとりくみに学ぶ、協働する

既刊 女も男も 2019春・夏 No.133

定価：1,948円（本体1,771円＋税10%）

特集 知っていますか? あなたのそばの非正規公務員

地方自治体で働く非正規公務員は約64万人。そのうち4分の3を女性が占める。児童虐待やDVの相談現場、図書館など専門性と経験を要する現場を担う職員の多くが非正規。教育現場においても非正規教職員は増え続けている。本号では、非正規公務員が増加した背景や課題を探るとともに、現場の非正規公務員の声を聞く。

- 〔PART 1〕 非正規公務員のいま
- 〔PART 2〕 増加する教育現場の非正規教職員
- 〔PART 3〕 女性非正規が担う「公共サービス」の現場から